

神奈川県立有馬高等学校1年7組B班

訪日外国人が国内で食事方法に困らない方法の検討

同じく有馬高校の1年7組B班の生徒たちは、日本を訪れる外国人観光客が「食事のマナー」で困らないようにするための取り組みを提案しました。文化の違いにより不安を感じることなく、日本の食文化を楽しんでもらうための工夫として、ピクトグラムと動画を活用したプロジェクトを展開しました。

背景と問題意識

きっかけは、メンバーの1人が留学中に食事マナーで戸惑った経験でした。調査では、日本のマナーがわからず困ったことがあるという外国人の声が60%、学びたいと回答した人が92%という結果も得られました。

アイデア① ピクトグラムの作成と展開

肘をつく禁止や渡し箸禁止などのマナーを視覚的に伝えるピクトグラムを制作。言語に依存せず理解できる点を活かし、飲食店のテーブルやメニューに掲載することを想定しました。

アイデア② 飛行機での動画上映

日本行きの飛行機内で、日本の食事マナーを紹介する動画を流すという提案も。動画は観光客にとって予習としての役割を果たし、不安の軽減や文化理解につながると考えられました。

成果と気づき

活動を通じて、自分たちが「社会に働きかける存在になれる」ことを実感したと同時に、異文化理解の重要性や、情報発信の手段についても深い学びを得ることができました。